

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 肝疾患診療地域連携体制強化事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課 感染症対策係 電話番号：058-272-1111(内3352)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,031 千円 (前年度予算額： 8,031 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	8,031	4,015	0	0	0	0	0	0	4,016
要求額	8,031	4,015	0	0	0	0	0	0	4,016
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

我が国の肝炎ウイルス持続感染者は、B型肝炎が110～140万人(岐阜県で推定2万人)、C型肝炎が190～230万人(岐阜県で推定3万人)といわれている。肝疾患診療連携拠点病院を中心とした地域連携体制を強化するとともに、質の高い肝炎医療の提供体制の確立が必要である。

(2) 事業内容

肝疾患診療連携拠点病院(岐阜大学医学部附属病院)に、次の事業を委託する。

ア 肝疾患診療支援センターの設置

メール、電話等の相談の応需、Webサイトからの情報発信等を行い、患者、家族、医療機関、市町村等への支援を行う。

イ 肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会の開催

県内の肝疾患治療の中核を担う病院との連携強化を図るため、連絡協議会を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1 / 2 県 1 / 2

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	8,031	岐阜大学医学部附属病院への業務委託
合計	8,031	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県保健医療計画

(2) 国・他県の状況

肝炎医療を提供する体制の確保に関する事項は国の肝炎対策基本指針（平成23年5月16日策定）の第4に位置付けられており、重要施策となっている。

これまで、国は「肝疾患連携拠点病院事業」において、岐阜大学医学部附属病院に直接助成を行ってきたが、平成28年度からは新たに「肝疾患診療地域連携体制強化事業」を設け、都道府県への助成事業となった。

(3) 後年度の財政負担

国の動向等を注視し、事業の継続、見直し等を検討

(4) 事業主体及びその妥当性

岐阜大学医学部附属病院は、すでに、県下唯一の肝疾患連携拠点病院として岐阜県の肝疾患専門医療機関の中心を担っており、肝疾患相談支援センターの設置、肝疾患連携拠点病院等連絡協議会の開催を行ってきた。

本県内において、このような医療機関は他にない。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

患者、家族、医療機関、市町村等への支援を行うとともに、県内の肝疾患治療の中核を担う病院との連携強化を図ることで、肝炎ウイルス持続感染者や肝炎患者等を適切な医療へ導く。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R11)	達成率
① 肝疾患相談支援センターの設置		1か所	1か所	1か所	1か所	100%
② 拠点病院等連絡協議会の開催		1回	1回	1回	1回	100%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	メール、電話等での相談対応業務を実施(75件)。 肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会を開催（1回）。
	指標① 目標：1か所 実績： 1か所 達成率： 100 %
	指標② 目標：1回 実績： 1回 達成率： 100 %
令和5年度	メール、電話等での相談対応業務を実施(62件)。 肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会を開催（1回）。
	指標① 目標：1か所 実績： 1か所 達成率： 100 %
	指標② 目標：1回 実績： 1回 達成率： 100 %
令和6年度	メール、電話等での相談対応業務を実施(45件)。 肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会を開催（1回）。
	指標① 目標：1か所 実績： 1か所 達成率： 100 %
	指標② 目標：1回 実績： 1回 達成率： 100 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない

(評価)

3

地域の医療連携強化の基点としての必要性が高い。

- ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり

2：期待どおりの成果あり

1: 期待どおりの成果が得られていない

0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

2

肝疾患診療支援センターにおいて、患者から医療従事者まで幅広く寄せられる専門的な相談に応需し、地域の肝炎治療向上に貢献している。

- ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

2

拠点病院等連絡協議会にて専門病院等と地域連携の課題を把握、共有することができる。

(今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

病院と地域の診療所との更なる連携強化が求められる。

(次年度の方向性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

相談事業の特化、地域連携強化を提供すべく継続すべき事業である。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など

【○○課】